

はじめに(問題意識)

世のため人のための「規制改革」は、ここ数年、思うように実行に移されていない。
 しかし、個別の改革案の議論は既に出尽くしている。
 規制改革の目的が十分理解されず、政治の強力なリーダーシップが足りないなど、根本的な
 ところに問題があるのではないかと?

規制改革が思うように進まない理由

1. 規制改革が必要な理由

- ・市場のニーズに柔軟に対応する
- ・国際競争力を高める
- ・公正な競争を行う
- ・非効率、高コストを是正する
- ・技術革新を進める

わが国の中長期的な
 経済成長に重要な
 役割を担う

2. 過去の規制改革の成果

1980年代以降、規制の緩和・撤廃が積極的に行われ、国民の生活が豊かに。(例: 情報通信、鉄道)

3. ここ数年、規制改革が思うように進まなかった理由

規制改革の目的が十分理解されず、政治に強力なリーダーシップが不足した
 既得権益者(業界団体等)、族議員の抵抗が大きかった
 省庁という大きな壁に突き当たってきた
 規制改革への関心を一部の国民しか持っていなかった
 社会的に弱い立場にいる個人へのセーフティネットが不十分だった

4. 今後、このままでいいのか?

財政支出や金融緩和だけで経済成長率をアップさせるのは難しい状況で、大きな財政負担をかけ
 ずに効果が期待できる規制改革を地道に積み重ねることが必要。
 しかし、見過ごすことできない規制再強化の動きも。(例: タクシー、派遣労働)

提言

1. 規制改革の基本スタンス

- (1) 民の創意工夫を促して経済を活性化させ、国民の生活を豊かにしたい
 < 規制改革による好循環の理想形 >
 規制改革により企業がイノベーションを起こせば、新たなビジネスが生まれる
 新たなビジネスは、消費者の選択肢を増やし、利便性向上につながる
 消費者の需要が増え、企業はさらなる利便性向上のため、設備投資、雇用を増やす
 経済が成長し、国民の生活が豊かになり、国の収入(税収)が増える
- (2) 公正な競争社会にしたい
- (3) 規制改革は必ず「痛み」を伴うが、それを乗り越えて改革を進めたい

提言(続き)

2. 具体的提言 ~ 規制改革基本法(仮称)の制定を~

【提言1】 国は規制改革庁(仮称)を設立し、継続的な規制改革の取り組みを

各省庁への調査や勧告ができる規制改革庁(仮称)の設立を
 より良い規制改革のためのPDCAサイクルの確立を
 規制改革の基礎教育、専門教育の積極的実施を
 個人のセーフティネットの構築を

【提言2】 地方では生活に密接な規制改革活動の展開を

規制の中身を全国一律から地域の実情にあったものへ
 地方にも規制改革を推進する組織を

【提言3】 規制改革にこそ「見える化」、「言える化」を

現在の規制を「見える化」してゼロベースでの見直しを
 「言える化」に向けたさらなる環境整備を
 「見える化」、「言える化」の上手な活用を

3. それぞれが今後すべきこと

(1) 政治家

「規制仕分け」の実現を
 規制改革庁(仮称)設立に向けた強力なリーダーシップの発揮を
 官僚が省庁の利益に左右されないよう、人事制度の見直しを

(2) 企業

ルールの悪用が発生しない仕組みの強化を
 積極的にイノベーションのチャレンジを

(3) メディア

客観的な立場で規制改革の状況を評価し、国民に分かりやすく伝えてほしい

(4) 国民

規制改革は長い目で見守ってほしい
 「言える化」された場で積極的な発言を

おわりに

・ライフスタイルや経済情勢の変化に伴って「規制」も陳腐化する。だから定期的な見直しが必要であり、
 それには政治の強力なリーダーシップだけでなく、国民が積極的に参加して意見を言うことも重要。
 ・国際協調を図りつつ、経済を再び成長路線へと乗せていくためには、外国からみて過剰な規制にも
 焦点を当てて改革を進めていくための議論を深めることが必要。